

長岡市からの報告

NaDeC構想と長岡市中心市街地に望まれること

長岡造形大学 地域協創センター長

建築・環境デザイン学科/大学院イノベーションデザイン領域 教授

NaDeC構想推進コンソーシアム運営委員長 (R2,3)

渡邊誠介



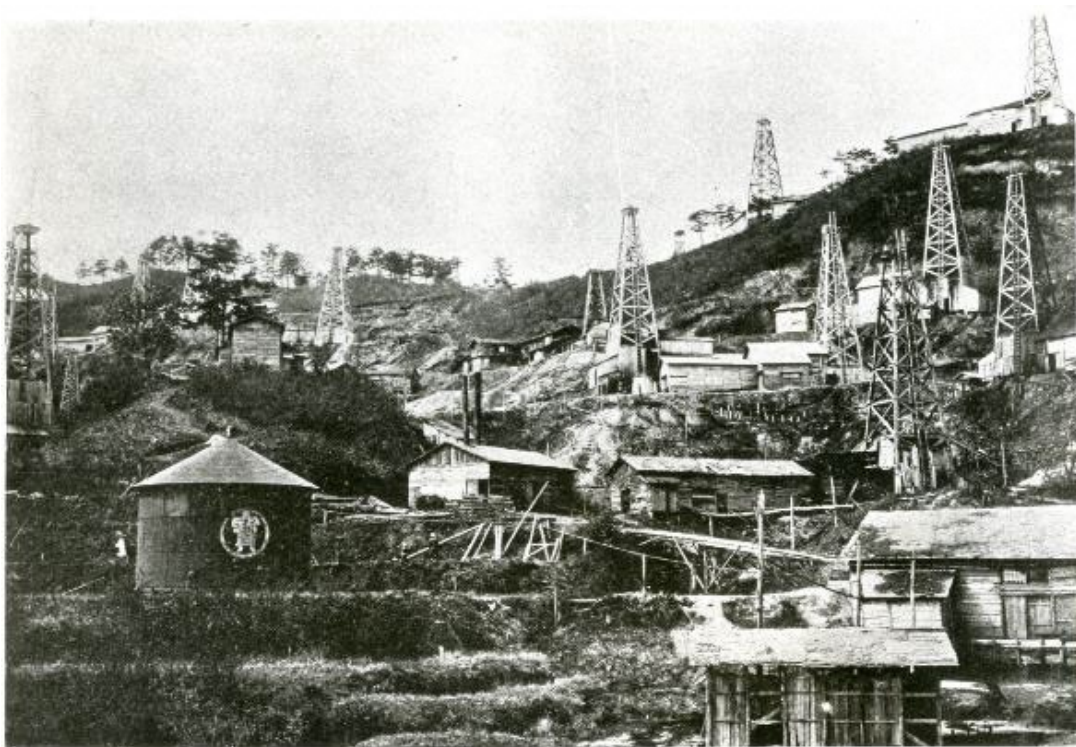
公立大学法人

長岡造形大学

Nagaoka Institute of Design

新潟県の歴史的な位置づけ

明治20年代東山油田の採掘に成功（オイルシティー）、
長岡は工業都市の道へ



出典：長岡市立中央図書館蔵

日本と満州を結ぶ窓口となり空襲の標的となった長岡市
新潟市は長崎の次の原爆投下予定地だった

日滿連絡最捷路

日鮮滿船車連帶 北新海北道 北新海北道 北新海北道

定期航路

- 新潟北野連行線
- 新潟北野連行線
- 新潟北野連行線
- 新潟北野連行線
- 新潟北野連行線

経路別	距離	三等運賃
新潟 津津經由	1904	約30.74
放買 津津經由	2051	32.21
下関 釜山經由	2901	36.93
門司 大連經由	3010	37.78

内案路捷最捷日滿

北-滿新は近い近も最は行旅脚の開滿日線鮮北海新道海北に並(丸野郵)線航船郵其費経路時がのちに用利脚を(丸野)すまりあて策得る最て見りよ点のて認他の脚程の用利脚を路航両字何は標の行旅脚(並送書内案)すま上申ひ願

社會式株船汽谷嶋 宮三市戸神

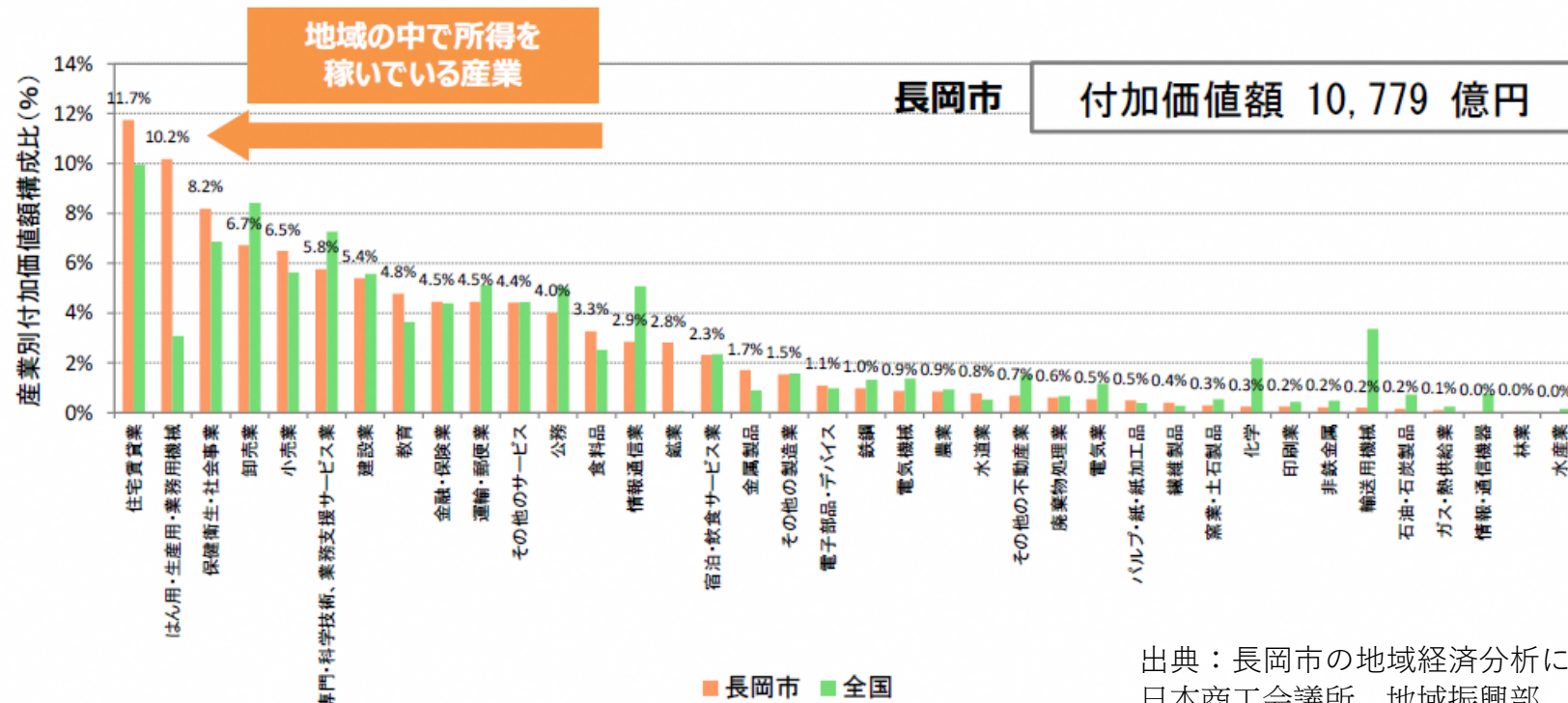
出典：絵葉書資料館



長岡市の産業構造の特色

全国平均と比して、はん用・生産用・業務用機械の分野が産業付加価値額が高い産業

産業別付加価値額



出典：長岡市の地域経済分析について
日本商工会議所 地域振興部



工都・学都としての長岡へ



- 明治42年(1909) **県立工業学校**が長岡に移転
(現 県立長岡工業高校)
- 大正12年(1923) **長岡高等工業学校**の設置
(現 **新潟大学工学部**:S54新潟に転出)
- 昭和37年(1962) **長岡高専**の開学
- 昭和46年(1971) 長岡女子短期大学開学 (現**長岡大学(H13)**)
- 昭和51年(1976) **長岡技術科学大**の開学
- 平成6年(1994) **長岡造形大学**開学
- 平成31年(2019) **長岡崇徳大学**開学
- 令和3年(2021) 長岡市内4大学1高専間で単位互換協定締結



長岡市が中心市街地に用意する拠点

ミライエ長岡(NaDeC BASE)を核とした産業政策

市内4大学1高専(5,023人・うち留学生353人)

■長岡技術科学大学(2,185人・男子9割)
工学 SDGsゴール9ハブ校
留学生266人(ベトナム人69人)

■長岡工業高等専門学校(1,130人・男子8割)
工学 ロボコン世界大会優勝多数

■長岡造形大学(1,076人・女子8割)
デザイン思考 大学院イノベーションデザイン領域

■長岡大学(463人・男子7割)
経済経営

■長岡崇徳大学(169人・女子8割)
医療・看護

15専門学校
(1,746人)

イノベーションエリア



首都圏等の外部人材
ベンチャー・スタートアップ
クリエイター・デザイナー

市内企業や大学・高専等の人材・技術・研究等が
ハブ(磁場)となってオープンイノベーションへ

産業人・起業家・研究者



サテライトオフィス/ テレワーカー/コワーカーのマッチングポテンシャル

～ イノベーションを進める駅前エリア ～

長岡駅前イノベーションエリアでの展開

■サテライトオフィス設置(進出企業6社)

長岡市サテライトオフィス等開設促進事業補助金を活用した企業誘致

USEN-NEXT HOLDINGS、東急エージェンシー、フラー、Verve(ヴァーブ)ほか

■民間賃貸オフィス・コワーキングスペース整備(3か所)

長岡市テレワーク対応型サテライトオフィス等開設補助金などを活用し、不動産オーナーが所有物件をリノベーションして、事業者誘致を図る(令和4年春開設予定)

(DiaPlaza長岡、コワーキング長岡(城内町)、ゆるり屋(旭町))

■NAGAOKA WORKER(協議会賛同企業16団体)

- ・長岡で暮らしながら首都圏等の市外企業(本社採用・同待遇)に完全リモートワークで勤める新しい働き方
- ・USEN-NEXT HOLDINGSは、7人をNAGAOKA WORKERとして採用内定
- ・協議会は、賛同企業の誘致、広報、人材採用支援、会員企業の交流を図る。

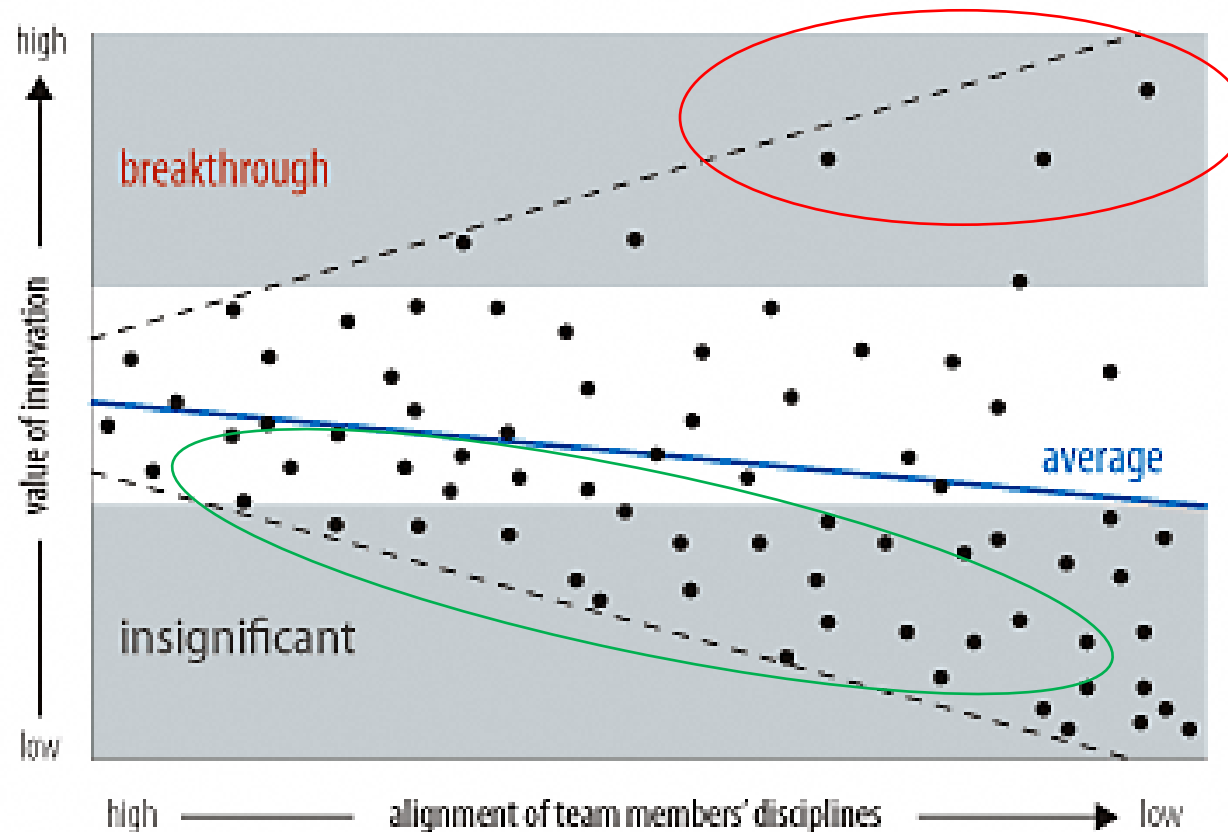


イノベーションとは何か



Going for Breakthrough

My research suggests that when a creative team is made up of people from very similar disciplines, the average value of its innovations will be high, but it will be unlikely to achieve a breakthrough. On the other hand, a group of people from very diverse disciplines is more likely to achieve breakthroughs—but will also produce many more low-value innovations.

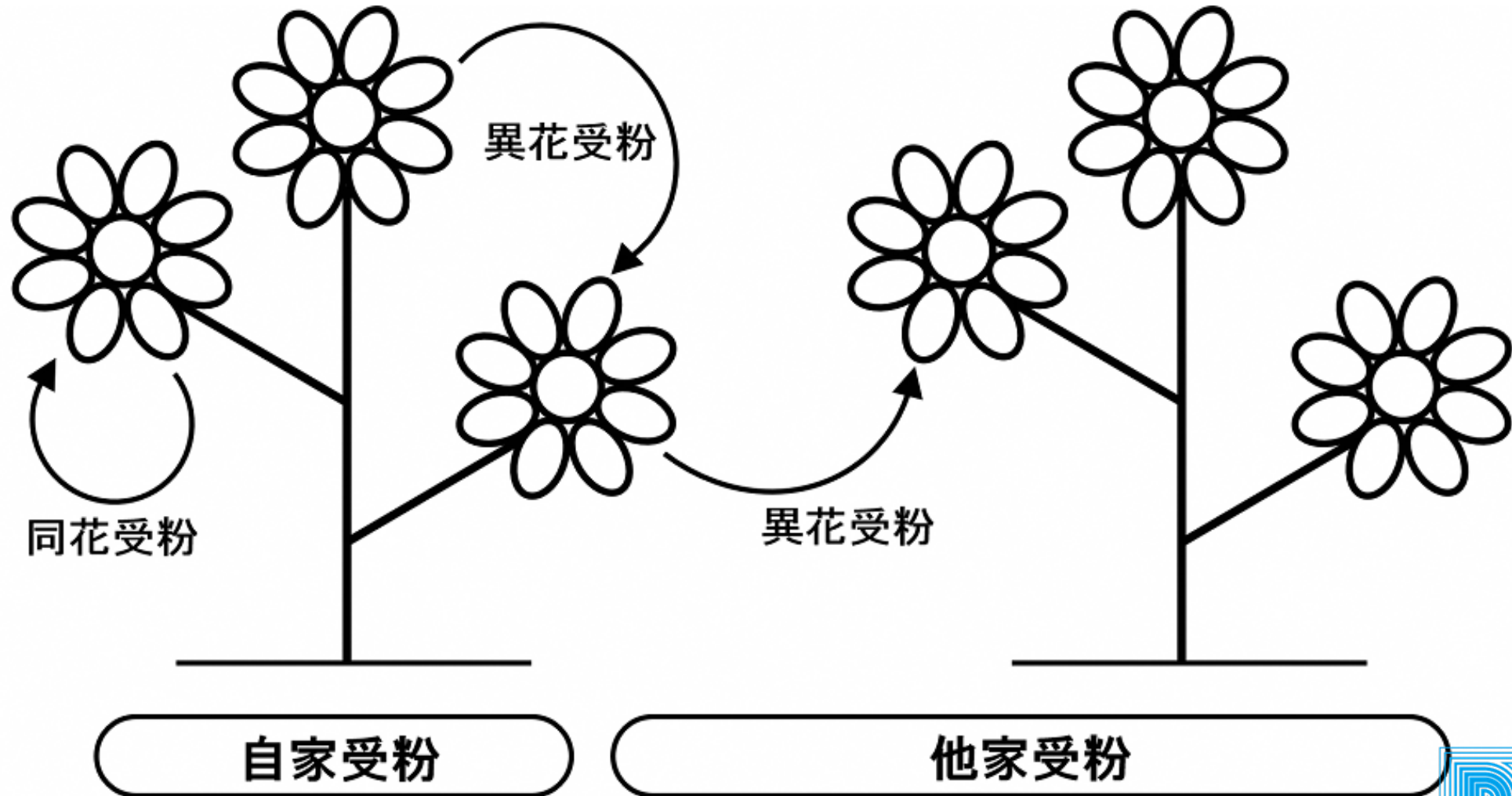


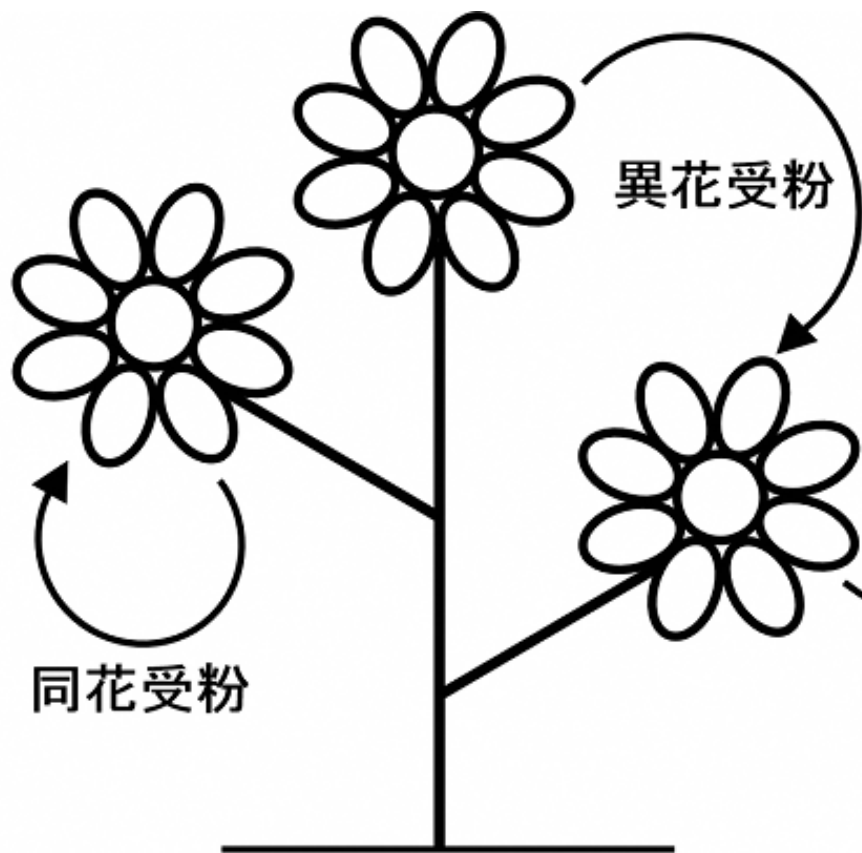
Copyright © 2004 Harvard Business School Publishing Corporation. All rights reserved.

“Perfecting Cross-Pollination”
Lee Flaming
Harvard Business Review Vol 82,
2004



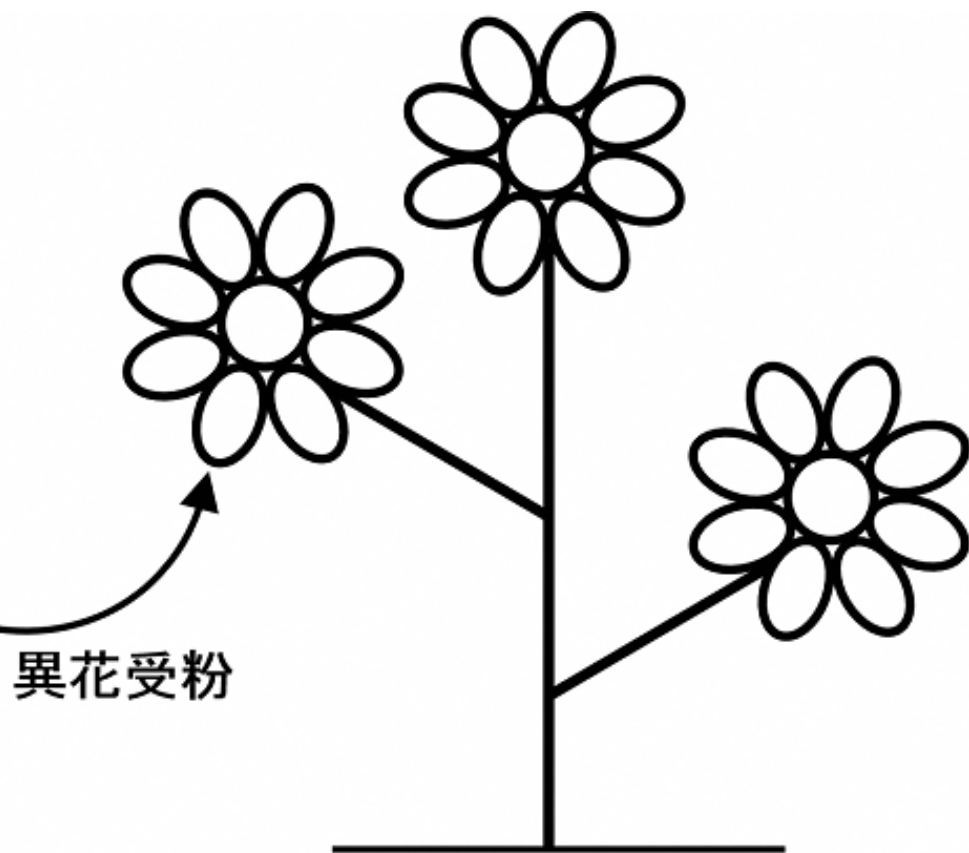
Cross-Pollination 他家受粉





自家受粉

デザイナー



他家受粉

エンジニア、エコノミスト、心理学者

しかしこれだけでは
インベンション（発明）で終わる危険性も



人の行動変容をもたらすことが 真のイノベーション

- 大事なことは新しい価値を生み出すことだけではなく、
- その新しい価値を提供した結果、顧客や生活者の態度がどう変わり、
- その結果どんな行動変容をもたらしたかにある。



セグウェイはインベンション（発明）だが
イノベーションではなかった

- 2000年初頭登場
- 2020年生産終了



紙おむつはイノベーション

- 1960年代「紙おむつなんて子育ての手抜きだ」
布おむつを洗濯して使う家庭が主流の時代

ベビーブームのような構造変化

+ 病院での紙おむつの早期導入→若い親たちの心理的抵抗の軽減



- 1980年代「紙おむつはむしろ子育てする母親にとって良い」



地方都市中心市街地の現在位置と 地方生活者の平均的行動

- 商業機能の老化、シャッター街
- オフィス機能の弱体化 → スポンジ化
- 駐車の有料、煩雑さ
- 単なる公共交通機関のハブポイント
- 交通弱者（若年層、老年層）が（しかたなく）行く場所
- 飲食のための店舗が集中立地している場所



必要がなければ主体的に赴くことがない場（という行動）



長岡型イノベーション

- 第1段階として長岡市民（NaDeC関係者を含む）の中心市街地に対する行動変容がうまれるかどうか
- ヒントはアオーレ
- 中心市街地が点としてのアオーレから面に広がることができるかどうか
- 第2段階でNaDeCなどを核としたCross-Pollination他家受粉を息長くチャレンジし続けられるかどうか



私が期待する 第1段階として長岡市民の中心市街地 に対する行動変容

- ◆シリコンバレーでは、みんな新しモノ好き
- ◆学生の調査、研究にみんな好意的

↓是非長岡でも

- 新しいこと、実験を応援する。楽しむ。
- チャレンジャーをリスペクトする。
- チャレンジしたけどちょっと躓いた若者を応援する。



「まち」がチャレンジしていれば
イノベーションも生まれると期待したい



リーンローンチパッド2022の様子

